

コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行 加西市立総合教育センター

加西市北条町古坂1173-14 TEL 0790-42-3723 URL <http://kasai-core.net>

— 今月の紙面 —

- ① 連合PTA 第1回 正副会長・役員会
富田小学校区歴史探訪
- ② 総合教育センター図書コーナーの紹介
- ③ インターネット、ゲーム依存にご用心

加西市連合PTA 第1回 正副会長・役員会 「加西の魅力再発見、愛着と誇りをはぐくむ」 高峰神社 ゆるぎ岩 鏡岩 河上神社を訪ねる



正副会長・役員会では、学校 PTA 役員が中心になり、校区、季節に合わせた様々な内容で研修会を開催し、見識を深めています。

6月1日(土)令和元年度第1回目の正副会長・役員会は富田小学校 PTA 役員が担当し、「加西の魅力再発見、愛着と誇りをはぐくむ」と題して、校区内にある高峰神社、ゆるぎ岩、鏡岩、河上神社の散策をしました。講師を務め

ていただいたのは、加西市歴史街道ボランティアガイドのお二人です。

出発地は高峰神社。もともとは背後にそびえる山の頂上にあっただろう。戦国時代の戦火により現在の場所に遷座したという記録があります。戦火を避けるために神様が山を下りてこられた時、イノシシにお乗りになっていたということで、この地域ではイノシシを大切にしているそうです。元区長様が直々にお話しく下さいました。

ゆるぎ岩では、法道仙人の言葉「善人が押せば動き、悪人が押してもびくともしない。この岩を押して動かないときは自分に邪心があるから、罪悪を懺悔して正直慈悲の人に立ち返りなさい」という言い伝えがあります。身長を優に超える大岩を押してみると、確かに小さく動いています。全員が善人であることが確認できました。



【鏡岩をのぞき込んでみると…】

加西市内には、私たちが知らない由緒正しい神社、言い伝えがある箇所などがたくさんあります。私たちの大切なふるさと加西の魅力を知る機会を作っていただいた富田小 PTA 役員の皆さん、ボランティアガイドのお二人、畑町役員の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



【ゆるぎ岩を押してみると…】

河上神社では、大きな御神体の岩がありました。ほとんどの願いをかなえてくださる神様だそうですが、特に夜尿症を直してくださるそうです。そしてすぐ横にある鏡岩。一見普通の大きな岩ですが、よくのぞき込んでみると、キラキラと輝く粒子がちりばめられています。こちら邪心のない人は、鏡岩に空と森の木々が映るそうです。



総合教育センター図書コーナーの紹介



総合教育センターに図書館があることをご存知ですか？市立図書館とは違い、小中学校教育に関わる専門書や指導書が多数あります。蔵書等総数として書籍 2046 冊 雑誌 3557 冊 DVD、ビデオ等 631 点あります。毎年、喫緊の教育情勢に合わせて新規購入をしており、教職員、教育に興味のある方にとっては、素晴らしい品揃えです。また、教育雑誌においては、最新版が取り揃えてあります。昨年度購入した新規図書を一部紹介します。

- ・「落ち着きがない」の正体 スチュアート・シャンカー
- ・AI(エーアイ) VS 教科書が読めない子どもたち 新井紀子
- ・言い方ひとつでここまで変わる 教師のすごい！会話術 森川正樹
- ・若手教師のための「超」時間術 大前暁政
- 残業ゼロで、授業も学級経営もうまくなる！
- ・アクティブラーニング「深い学び」実践の手引き 田中博之
- 新学習指導要領のねらいを実現する授業改善
- ・考え、議論する道徳に変える発問&板書の鉄則45 加藤宣行
- 加藤宣行の道徳授業
- ・レッジョ・アプローチ アレッサンドラ・ミラー
- 世界で最も注目される幼児教育
- ・チャンツで楽習！決定版（NHK CD BOOK基礎英語） 高橋一幸・田尻悟郎
- ・小児科医の僕が伝えたい最高の子育て 高橋孝雄
- ・乳幼児の発達 運動・知覚・認知 明和政子

いかがでしょうか。興味のある方は是非一度お立ち寄りください。なお、ご利用には図書カードが必要ですので、本センターにて作成して下さい。図書カードが作成できるのは加西市在住または加西市に通勤している方に限ります。ご了承ください。

【開館時間】 火・水・木曜日 午前8：30～午後5：00
月・金曜日 午前8：30～午後8：30



インターネット、ゲーム依存にご用心

ゲーム機、スマホ等のインターネット機器に依存することが多い生活環境の中で、表面上は落ち着いているように見えても内面に大きな影響を受けている子どもが増えています。

2019年5月25日、WHO（世界保健機関）が日常生活に支障をきたすほどゲームに没頭する「ゲーム障害」を精神疾患（依存症）として認定しました。愛知県の児童精神科医長である吉川 徹先生によると、「ゲーム脳」になってしまうと、人としてより良く生きるという大切な分野をつかさどる脳の前頭葉に白い影が現れ、治療を施しても治らないとまで話されています。

大変恐ろしい話ではありますが、このような状態にならないためにも、ご家庭で使用時間等の約束についてしっかり話し合ひましょう。子どもたちを守るための大人の役割が大きな鍵となります。